

## 〈当社のめざすもの〉 地域・社会の発展、環境保全、安全で快適なサービスの提供

当社は今年で創業から125年、開業から123年、長きにわたりこの地で事業を行ってまいりました。これまで地域の皆さまに支えられてきたことに大変感謝いたしております。

鉄道事業においてはモータリゼーションの進展等による減収に対し、経費削減を実施して参りましたが限界に達し、一民間事業者での事業継続が困難な見通しとなりました。そのような中、平成28年（2016年）に県および沿線市町に対し「近江鉄道線の今後のあり方」について検討の申し入れをさせていただき、今日までさまざまな角度からこの地域における近江鉄道線のあり方をご協議いただきました。

昨年度には、2024年度からの「公有民営方式による上下分離」への移行、それまでの3年間は運営改善期間とし、沿線自治体、沿線住民の皆さま等と事業者が一体となって、より良い状態で移行できるよう取り組んでいくこととなり、当社といたしましても事業者としてしっかり取り組んで参りたいと考えております。

### ① 安全安心

#### ➤ さらに安全輸送を追求します

- これまで自然災害による運休はありますが、2次災害を発生させず速やかな復旧を行っています。さらには、未然防止策を積極的に行いリスクの低減を図っています。
- 今後も長年培ってきたノウハウやスキルに磨きをかけ、安全安心なサービスを引き続き提供していきます。

#### ➤ 学生や高齢者など交通弱者への対応の一層の充実に努めます

- 必要不可欠な交通手段としての責務を全うします
  - 地域のニーズに沿い、利用しやすいサービスを提供します
- ※定期券補助、助成券などへの対応

## ② 地域のにぎわい創出

- **交通ネットワークの充実強化を行います**
  - 他の公共交通との連携を強め、利用しやすい環境整備を積極的に行います
  - 特に、行政とともに現在当社グループが受託運行しているコミュニティバスやコミュニティタクシーとの連携を強め、さらなる改善をしていきます
- **地域住民との協働によるサービス向上を行います**
  - 公共交通を通じて、地域の皆さまと連携を図り、地域社会の活性化に寄与します
  - これまで当社のみで実施してきたイベントだけでなく、活性化分科会や近江鉄道みらいファクトリーを通じて、新たな需要を創出し、地域住民の皆さまと取り組んでいきます

## ③ 持続的な経営

- **西武グループの継続的なサポートの確約**
    - 現在も西武鉄道から人的協力、車両の譲渡、中古資材の提供を受けておりますが、引き続き協力が得られることを確認しております
- ※2019年には西武HDの取締役以下役職者による現地確認および協議を実施

最後になりますが、近江鉄道線は開業以来、通勤や通学など地域の鉄道として沿線の多くの皆さまにご利用いただいております。湖東地域における重要な交通インフラの一端を担ってまいりました。これからも地域の皆さまに必要とされ続けるように努力を重ねてまいります。